

マレーシア国サラワク州ミリ市のミリ総合病院へ医療機器を寄付 ～マレーシア・サラワク沖SK10鉱区 生産開始5周年記念事業として～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)の石油開発部門である新日本石油開発株式会社(社長:古関 信、当社100%出資会社)は、子会社日石マレーシア石油開発株式会社(以下「日石マレーシア」)を通じて、マレーシア・サラワク沖SK10鉱区の生産開始5周年を記念し、サラワク州ミリ市のミリ総合病院に対し、総額333,000リンギット(約1,000万円)相当の医療機器を寄付しましたのでお知らせいたします。

日石マレーシアは、1987年にマレーシアのボルネオ島サラワク州沖合に位置するSK10鉱区の権益を取得し、オペレーターとして探鉱活動を行った結果、1990年にヘラン・ガス田を発見いたしました。その後、2003年11月に同ガス田で天然ガスおよびコンデンセートの生産を開始しております。

同ガス田で生産された天然ガスはサラワク州ビンツルで操業中のMLNGティガ社(国営石油会社ペトロナス子会社)の液化プラントで液化され、日本国内の需要家などに販売されております。

このSK10鉱区からの生産開始5周年を記念し、12月12日(金)にサラワク州ミリ市のインペリアル・ホテルにおいて、地元の役所関係者、ペトロナス関係者などを招待した記念セレモニーを開催し、この中で日石マレーシアよりミリ総合病院に対して医療機器の目録を贈呈いたしました。

当社グループは、今後とも地域社会の一員として、日石マレーシアを通じてこのような社会貢献活動を続けてまいります。

以上



左から日石マレーシア 北川ミリ事務所長、新日本石油開発 福岡副社長、ミリ総合病院 ウマ・デビ院長

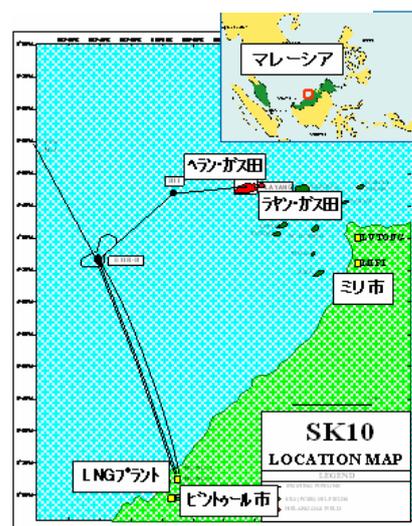
1. 寄付の概要

- (1) 寄付額：日石マレーシアから333千リングット（約10百万円）
- (2) 寄付先：マレーシア国ミリ市ミリ総合病院
- (3) 目的：ミリ総合病院の医療器具購入費用などとして

2. サラワク沖「SK10 鉱区」の沿革

1987年11月	「SK10 鉱区」権益を取得
1990年11月	ヘランガス田発見
1991年 5月	ラヤンガス田発見
1999年11月	三菱商事が日石マレーシアの増資新株式を引受、株主(出資比率：7.37%=当時)として当該プロジェクトへ参入
2000年11月	帝国石油(当時)が日石マレーシアの増資新株式を引受、株主(出資比率：15.0%=当時)として当該プロジェクトへ参入
2003年11月	ヘランガス田生産開始

サラワク沖 SK10 鉱区図



3. ヘランガス田の概要

- (1) オペレーター 日石マレーシア石油開発株式会社
 - (2) 保有権益比率 75.0%
 - (3) パートナー（権益比率） チャリガリ（25.0%）
 - (4) 生産量 2008年1～9月平均
原油換算日量約4万7千バレル（グロス）
同 日量約2万3千バレル（日石マレーシア取り分）
- ※チャリガリ＝マレーシア国営石油会社ペトロナスの子会社

4. 日石マレーシア石油開発株式会社の概要

- (1) 商号 日石マレーシア石油開発株式会社
- (2) 代表者 取締役社長 古関 信
- (3) 所在地 東京都港区西新橋一丁目3番12号
- (4) 設立年月日 1987年10月14日
- (5) 事業内容 マレーシアにおける石油・天然ガスその他鉱物資源の探鉱、開発および採取他
- (6) 資本金 13,100百万円
- (7) 株主構成
新日本石油開発（株） 78.7%
国際石油開発帝石（株） 15.0%
三菱商事（株） 6.3%